

報告事項 5

第1回 少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議について

第1回 少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議について、以下のとおり報告する。

令和 元年 12月 20日 提出

「第1回少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議」について

1. 開催趣旨

平成31年4月19日に、兵庫県私立中学高等学校連合会より、将来の人口減少を見据えた神戸市との連携に関する要望を市長が受けたことに伴い、今後も次世代を担う人材を育成していくため、「少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議」を開催し、公私連携した取り組みの必要性などについて幅広く検討する。

(所管：企画調整局企画課)

2. 委員（敬称略）

摺河 祐彦（兵庫県私立中学高等学校連合会理事長）

森地 高文（神戸商工会議所副会頭）

山中 伸一（学校法人角川ドワンゴ学園理事長／元文部科学事務次官）

和田 孫博（神戸市私立学校協会会長）

3. 第1回会議開催要旨

(1) 日時 令和元年12月16日（月）10：30～12：00

(2) 論 点

①生徒数の減少を見据えた市内の高等学校のあり方

- ・学校の適正規模
- ・学校の配置
- ・公私協調の取り組み

②次世代人材育成に向けた高等学校教育の推進

- ・今後の高等学校教育に求められるもの
- ・次世代教育を担う教員人材の育成

③市立高等学校の役割

- ・神戸らしい特色ある教育の実践
- ・地域の産業を担う人材の育成
- ・市立高等学校全体でのマネジメント機能の向上

④神戸市内の高校生に対する多様な教育機会の創出

- ・自治体の主体的な取り組み

4. 今後の予定

第2回会議は令和2年2月頃の開催予定

第1回 少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議

次第

日時： 令和元年12月16日（月） 10:30～12:00

場所： 神戸市役所1号館14階 大会議室

1. 開会

2. 現状と将来推計について

3. 意見交換

4. 閉会

少子化に伴う高等学校教育のあり方に関する有識者会議
委員名簿

(敬称略, 五十音順)

するが まさひこ
摺河 祐彦

兵庫県播磨高等学校長／兵庫県私立中学高等学校連合会理事長

もりち たかふみ
森地 高文

神戸商工会議所副会頭／株式会社神戸製鋼所顧問／
神鋼商事株式会社代表取締役社長

やまなか しんいち
山中 伸一

株式会社ドワンゴ取締役／学校法人角川ドワンゴ学園理事長／
元文部科学事務次官

わだ まごひろ
和田 孫博

灘中学校・高等学校長／神戸市私立学校協会会長／
兵庫県私立中学高等学校連合会副理事長

第1回

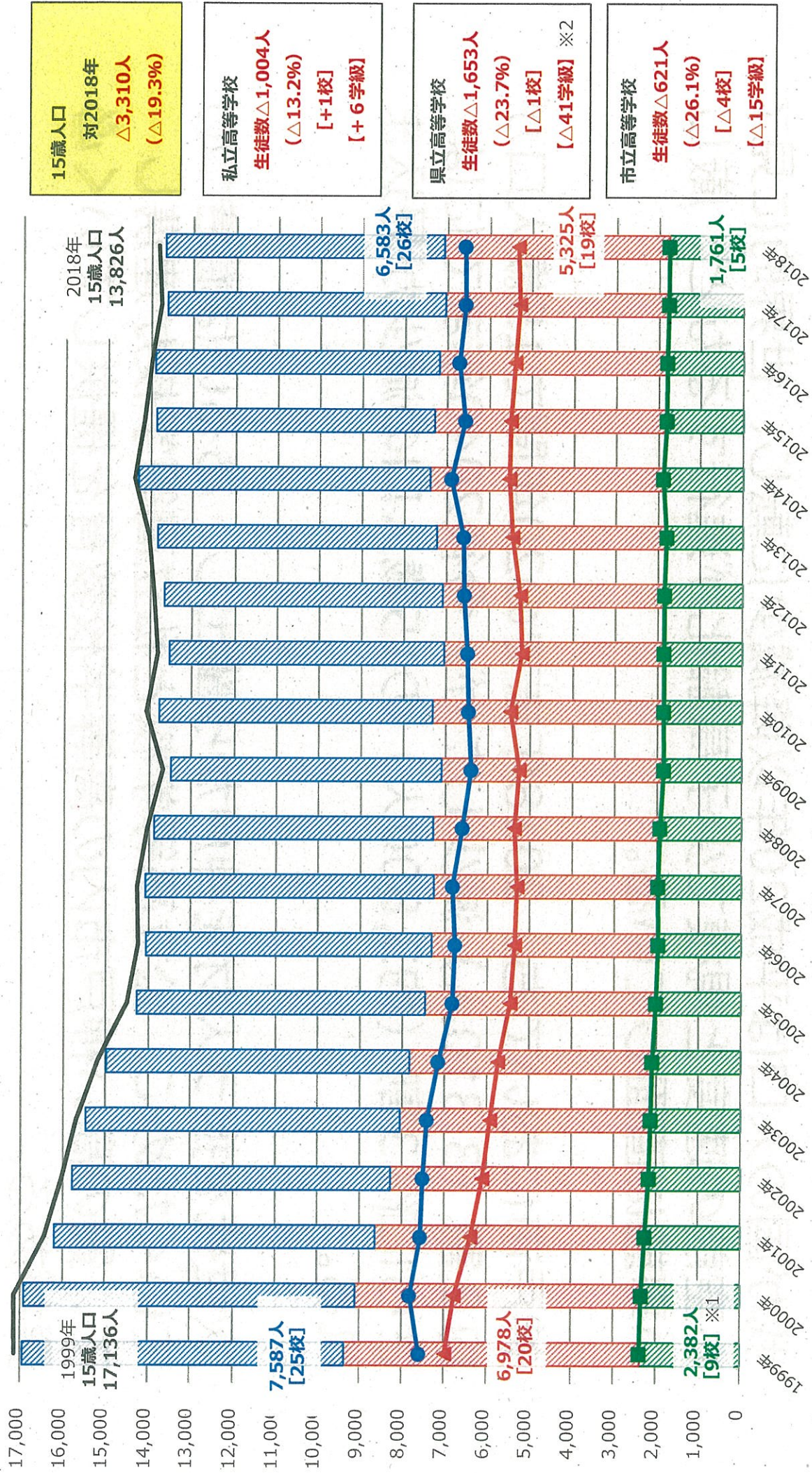
少子化に伴う高等学校教育のあり方に
関する有識者会議

－現状と将来推計について

令和元年12月16日（月）

神戸市企画調整局

2. 神戸市内15歳人口と市内高等学校（全日制）の生徒数（1学年）の推移



— 15歳人口 ■ 市立高等学校生徒数 ▲ 私立高等学校生徒数 ● 1学年生徒数内訳 (■市立 ■私立 ■県立 ■私立)

出典：「住民基本台帳（各年3月末時点）」及び「県立、私立の生徒数（1学年）」は兵庫県教育委員会より数値入手。（※2012年以前の15歳人口は2013年時点の15歳人口と生徒数の割合で割り戻して算出。）
 ※1 1998年～2000年は六甲アイランド高等学校への統廃合の過渡期であり、六甲アイランド高等学校・赤塚山高等学校・神戸商業高等学校の3校が存在する。実質1校減のため、2校分とカウントし計上。
 ※2 県立高等学校の学級数の減少数については1学級を40人と仮定して計算した場合の参考値。

次世代人材育成に向けた高等学校教育のあり方

論点

(1) 生徒数の減少を見据えた市内の高等学校のあり方

- 学校の適正規模
- 学校の配置
- 公私協調の取り組み

(2) 次世代人材育成に向けた高等学校教育の推進

- 今後の高等学校教育に求められるもの
- 次世代教育を担う教員人材の育成

(3) 市立高等学校の役割

- 神戸らしい特色ある教育の実践
- 地域の産業を担う人材の育成
- 市立高等学校全体でのマネジメント機能の向上

(4) 神戸市内の高校生に対する多様な教育機会の創出

- 自治体の主体的な取り組み